

# 「ハッピーカード～互いを認め合う人間関係作りを目指す取り組み～」

令和7年4月～ @各学級・各学年フロア

本校では、生徒から生徒、先生から生徒へ「お互いの良いところに気づき、伝える」手段として「ハッピーカード」に生徒一人一人の良さを記入して、そのカードを各学級のボードに貼り、「互いを認め合う人間関係作りを目指す取り組み」を行っています。

夏休み明けとてもうれしい話がありました。

自分自身が真面目であることにコンプレックス（劣等感）を感じている生徒Aさんに対して、級友が、ハッピーカードに「〇〇してくれてありがとう」「みんなをまとめていてすごい」「クラスに欠かせない存在」と書いたことで、生徒Aさんは「その言葉が心に浸透し、劣等感は消え、ほんのり温かかった」。そして、今後は「私が『ハッピーカード』で助けられたように相手にも優しい言葉をかけたい。誰かの優しさを受け、同じ優しさがまた一人、また一人と連鎖していく。そうやって思いやりはつながっていく・・・」と。

昨今、相手を傷つける言葉を発したり、実際凶器等を使用して傷つけたり、SNSで口撃したりするニュースがありますが、改めて本校の生徒の優しさを感じた「ほっこり（心あたたかい気持ちになる、癒やされる）」する話でした。

